聖徳大学短期大学部創立６０周年
聖徳大学創立３５周年記念

聖徳教育学術振興募金 へのご支援 ありがとうございました。

皆さまからの多大なるご支援に、心より感謝申し上げます。
賜りましたご寄付について、ご報告いたします。

- 期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月末まで
- 総額：21,787,000 円

<内訳>	個人	75 件	2,787,000 円
	団体・法人	4 件	19,000,000 円
	合計	79 件	21,787,000 円

聖徳大学短期大学部・聖徳大学の歴史は、多くの卒業生の皆さまの歩みとともに築かれてきました。学生時代に培われた学びや経験は、それぞれの人生の中で息づき、世代を超えて受け継がれています。

このたび迎えた短期大学部創立 60 周年、大学創立 35 周年という節目を、これまでの歩みを振り返り未来へとつなぐ機会と位置付け、「過去・現在・未来をつなぐ」をテーマに、卒業生・在学生・教職員が心を一つにしたさまざまな取組を展開してまいりました。

本取組を通じて寄せられた多くのご厚意は、聖徳大学短期大学部・聖徳大学の未来を支える大きな力となります。皆さまとのつながりを大切にしながら、これからも建学の精神を受け継ぎ、新たな歴史を紡いでまいります。

あらためて、皆さまからのご支援とご協力に心より御礼申し上げます。

具体的な取組内容

No.1. ギネス世界記録™ への挑戦!

達成!

“Largest paper ball mosaic (image)“ ［最大のペーパーボールモザイク］

さくら紙を一つひとつ丸めてつくるペーパーボールを用い、卒業生・在学生・教職員が力を合わせて一つの大きな作品を完成させる本取組は、本学らしい学びのかたちを体現した挑戦です。
手を動かし、仲間と協力しながら作品をつくり上げる過程には、表現する楽しさや、共に創りあげる喜びが詰まっています。



利根山光人氏の作品「若さ」（松戸キャンパス１号館入口）







画家 利根山光人氏のガラスモザイク作品「若さ」は、本学の教育や歩みを見守り続けてきた大切な存在です。こうした作品を学びの環境の中に取り入れてきた背景には「よい教育は、よい環境から」という教育理念によるものであり、今回はその「若さ」を題材にこれまでの歩みを新たなかたちで表現する取組となっています。創作活動を通じて、学生たちが本学の歴史や大切にしてきた価値観に触れ、自然と感じ取り理解する機会となりました。



完成

No.2. *集え!10万人の卒業生　企画の実施　2025年9月20日開催*

「集え！10万人の卒業生」のコンセプトのもと実施した企画では、卒業生の皆さまが学生時代の学びを懐かしく振り返るとともに、進化を続ける本学の教育内容を体験し、世代を超えたつながりを感じていただける機会となりました。

周年を記念したさまざまな取組を通じて、多くの方に本学の学びの魅力や教育の特色に触れていただくとともに、人と人とのつながりから、その価値を改めて感じていただくことができました。

皆さまからお寄せいただいたご支援は、学びの機会の充実や教育環境の向上に活かされ、学生一人ひとりの成長を支えながら、その価値を未来へとつないでいます。